

●手賀沼水面鳥類センサス結果

調査日：2013年6月19日、7月18日、8月16日(9:00~12:00)

科名	種名	個体数 (6月)	(7月)	(8月)
カモ	カルガモ	6	59	47
カイツブリ	カイツブリ	11	20	17
ハト	キジバト	0	1	0
ウ	カワウ	99	104	118
サギ	アオサギ	4	1	6
	ダイサギ	0	1	4
	チュウサギ	0	0	3
	コサギ	4	1	7
クイナ	バン	0	1	0
	オオバン	8	7	3
タカ	トビ	1	0	0
カワセミ	カワセミ	0	3	2
カラス	ハシボソガラス	1	1	2
	ハシブトガラス	0	0	1
ツバメ	ツバメ	4	14	1
スズメ	スズメ	0	5	0
家禽や外来種	コブハクチョウ	11	21	34
	アヒル	2	0	2
	ドバト	1	1	4
合計	19種	152	240	251

●岡発戸の谷津田鳥類センサス結果

調査日：2013年6月26日、7月18日、8月16日(9:00~12:00)

科名	種名	個体数 (6月)	(7月)	(8月)
キジ	キジ	1	3	0
ハト	キジバト	4	0	2
キツツキ	コゲラ	2	5	1
カラス	ハシボソガラス	10	7	0
	ハシブトガラス	6	4	4
シジュウカラ	シジュウカラ	8	6	3
ツバメ	ツバメ	8	3	1
ヒヨドリ	ヒヨドリ	24	37	10
ウグイス	ウグイス	6	2	1
メジロ	メジロ	15	5	0
ヨシキリ	オオヨシキリ	4	0	0
ムシクイ	ムシクイ科の一種	0	0	1
スズメ	スズメ	33	16	56
アトリ	カワラヒワ	9	8	1
ホオジロ	ホオジロ	12	10	7
合計	15種	142	106	87

あびこ鳥だより

Autumn
2013
【秋号】

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.35



表紙の鳥 ゴイサギ
写真提供：吉田隆行さん

ミュージアムコンサートのお知らせ

我孫子市内で結成された高校生合唱団と市内在住のソプラノ歌手を招き、博物館の展示室で行うコンサートです。

日時：11月10日(日) 17時~18時
(受付・開場 16時30分~)
定員：75名(先着順)

応募方法：ハガキ、電話、FAX、メール
「ミュージアムコンサート希望」、「住所」、「氏名」(参加者全員の氏名・ふりがな)、電話番号を明記のうえ応募
受付開始：平成25年10月16日(水)
応募締め切り：平成25年10月29日(火) 必着
応募先：〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3
電話：04-7185-2212 FAX:04-7185-0639
メール：boshu_torihaku@city.abiko.jp

利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
館内整理日、年末年始(12/29~31、1/1~4)
- 入館料

区分	個人	団体(20名以上)
一般	300円	240円
高校生、大学生	200円	160円
小・中学生	免除	免除

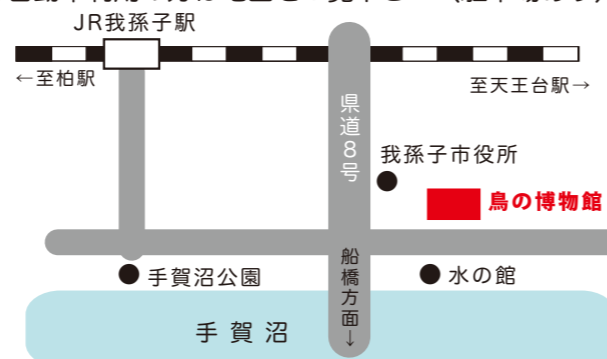
*70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名含む)は入館料が免除されます

●お問い合わせ：我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3
☎：04-7185-2212 FAX:04-7185-0639
ホームページ：http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/

交通案内

- 電車とバス利用
JR 我孫子駅下車、我孫子駅南口バス停より市役所経由バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車
- 自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場あり)



<目次>

- 特集ページ・・・・・・・・・・ 2
・「夜のバードウォッチングのスズメ」
- 最新情報・・・・・・・・・・ 3
・ジャパンバードフェスティバル2013開催!
・鳥博セミナー「空飛ぶハチドリのはimitsu」のご案内
- イベント情報・・・・・・・・・・ 3
- 我孫子市鳥類調査結果・・ 4

「夜のバードウォッチングのススメ」

●鳥は夜に目が見えるか？

「鳥目」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？ニワトリなどが夜になると目が見えなくなることから、暗いところでも目が見えにくいことをこのようにいふことがあります。しかし、普通の多くの鳥は夜でも人間並みかそれ以上に目が見えて、夜に活動している種もたくさんいます。夜行性であることが有名なフクロウやヨタカなどのほかに、意外な鳥たちが夜に活動しています。身近なところでも、注意深く見たり聞いたりしていると、鳥たちの夜の暮らしぶりを観察することができます。

●夜に鳴く渡り鳥

視界のあまり効かない夜間、コミュニケーションの手段として有効なのは鳴き声です。夜に群れで渡りをするツグミの仲間は、よく飛びながら鳴き交わします。ツグミの仲間は森林などに生息する鳥ですが、渡りのときは町中でも上空を飛ぶので、夜空から降ってくる地鳴きを聞くことができます。9月から11月の渡りの時期、星が出ていてよく冷え込んだ夜には、小鳥が多く渡るので、声を聞くことができるチャンスです。「クワックワッ」と2声鳴くのがツグミ、「ツィー」と細い声でなくのがシロハラやマミチヤジナイです。暗くなってから家に帰る道で上空に耳を澄ましてみると、冬の訪れを感じる素敵な出会いがあるかもしれませんよ。



夜に渡りをするツグミ

●夜の水辺は意外とにぎやか



夜の水田で餌をとるカルガモ（左写真）
昼間は眠そうなゴイサギ（右写真）

昼間に人から餌をもらっているカモの仲間も、夜になると浅い水辺に繰り出して餌をとります。夕方「ヒュンヒュンヒュン…」と羽音を立てて飛んでいくカモの群れを見たことはないでしょうか？カモ類は昼間の休息場所と夜の採餌場所が違うことがよくあり、時には何キロも離れたところへ飛んでいきます。水のたまった水田や川などで一晩餌をとると、朝にはまた休息場所に帰っていきます。ゴイサギも、夜に声を聞くことの多い水鳥です。「クワッ」とよく通る声で飛びながら鳴くことから、古くから「夜ガラス」という別名で親しまれてきました。昼間は眠そうな顔で木に止まっているのを見ること多いこの鳥も、夜の水辺では活発に動き回って餌をとっています。

夜に懐中電灯を持って水辺に行ってみれば、彼らの違った一面を垣間見ることができるでしょう。

●夜の鳥のスター フクロウと出会う

「ウオウウオウ ウオロッポロッポ」と低い声で鳴き交わすフクロウはとても魅力的な鳥です。我孫子市内でも繁殖しているのですが、目にする機会はそれほど多くありません。もっとも頻りに囀るのは繁殖期が始まる11月から1月くらいです。この時期に大きな木のある林の近くや谷戸などで待っていると声を聞くことができるでしょう。月の出ている明るい夜には、飛びまわる姿を見ることができるかもしれません。フクロウは昼間は林の中で休んでいることが多いですが、狩りは開けたところで行うので、夜には農耕地などにも出てきて電線やガードレールに止まって餌を探しているのが見られることがあります。



フクロウの観察は秋から冬がチャンス

観察の際は安全に十分配慮して、秋の夜長にバードウォッチングを楽しんでみましょう。

ジャパンバードフェスティバル 2013 開催！

ジャパンバードフェスティバル(Japan Bird Festival/略称:JBF)は、我孫子市手賀沼周辺にて行われる、鳥をテーマにした日本最大級のイベントです。今年で13回目を迎えました。行政・NPO・学生・市民団体などによる鳥・自然環境に関する研究・活動の発表、鳥の彫刻・絵画・写真展や、工作教室、船上バードウォッチングやスタンプラリーなど、お子様からご年配の方までお楽しみいただけます。

JBF期間中、館内ではJBF出展者によるゲストトーク、トキの帽子づくりや鳥に関するクイズなどを企画しています。屋外ではミュージアムショップのテントも出展する予定です。ぜひご来館ください。

また山階鳥類研究所と鳥の博物館の共催で行う鳥学講座では、カラス科の鳥類の行動を研究されている松原始さん（東京大学総合研究博物館特任助教）を講師に招き、ハシブトガラスの行動、生活、進化についてお話いただきます。

*日時等の詳細は下のイベント情報をご覧ください

JBF 開催期間：11/2日（土） 9：30～16：00 11/3（日） 9：30～15：00



JBF 開催中の館内の様子



紙でつくるトキの帽子

鳥博セミナー「空飛ぶハチドリのはみツー飛行生物のエアロダイナミクス」のご案内

私たちが日常何気なく目にしている空を羽ばたく鳥たち。しかしその翼には、巧みに空気の流れを操って空中を飛行するための優れたエアロダイナミクスが働いています。本講演では、田中博人さん（千葉大学・上海交通大学共同研究センター特任助教）を講師に招き、ホバリング飛行で有名なハチドリを中心に、鳥や昆虫などの飛行生物がどのように空を飛ぶのか、飛行機やヘリコプターの飛び方との違いなどを分かりやすく解説していただきます。また、生物のように羽ばたいて飛ぶ小型飛行ロボットなど最先端の応用研究も紹介します。

現在開催中の企画展「鳥の骨展」では、千葉大学大学院工学研究科劉浩研究室のハチドリ型ロボットについて紹介しています。ぜひ合わせてご覧ください。

*日時等の詳細は下のイベント情報をご覧ください



ホバリングするブロンズインカハチドリ

イベント情報

●自然観察会

○てがたん～手賀沼定例探鳥会～

時間：10：00～12：00
集合場所：博物館入口（予約不要）
10月12日（土） 「鳥の渡りとモズの高鳴き」
11月9日（土） 「木の実・草の実」
12月14日（土） 「声でさがす林の鳥」

●講演・座談会

○鳥博セミナー

「空飛ぶハチドリのはみツー飛行生物のエアロダイナミクス」
日時：10月6日（日）13：30～15：00
場所：博物館多目的ホール
定員：先着50名（参加無料）
講師：田中博人さん（千葉大学・上海交通大学共同研究センター特任助教）

○鳥学講座

日時：11月2日（土）14：30～16：00（14時15分開場）
場所：アピスタ（我孫子市生涯学習センター）
定員：先着120名（参加無料）
テーマ：「ハシブトガラスは高みの見物～時々、歩きますけどね」
講師：松原始さん（東京大学総合研究博物館特任助教）

○テーマトーク

時間：毎月第2土曜日 13：15～14：00
場所：博物館多目的ホール
定員：先着50名（参加無料）
講師：山階鳥類研究所所員
10月テーマは「DNAから分かるカワラヒワの地理的変異」です
11月、12月のテーマは未定

*館内イベントは参加無料でも入館料が必要です

*自然観察会は高校生以上の方は保険料100円が必要です

2013年10月～12月